NO ５２９　　令和５年１１月２０日（月）

3学年だより

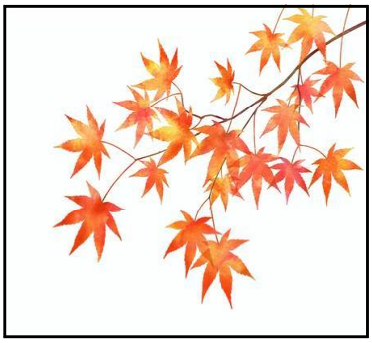
夢の宅配便

3年学年主任
水野　喜代治

「もみじ♪」

朝、寒くなりました。起きるのが辛い季節です

冬ですね



夏が終わって、秋がほんのわずかで冬になってしまいました

校庭の銀杏もまだ葉を黄色に染めていません

秋を感じることができないのでしょう

１１月の末なのに、銀杏がまだ青い葉をつけています

秋の気配を身近に感じないままに、時は過ぎていきます

よく、銀杏の木を見ると、黄色くなっている葉が目に止まります

「１１月だよ！みんな黄色になろうよ！」と言っているように思えます

葉っぱにも几帳面で真面目な葉がいるようです

このような景色を毎年見ていると、紅葉のイメージが変化していくのかなと寂しくなります

小学生の時に白い息を出しながら登校して見た、曾我山の綺麗なモザイクの山の景色が目に焼き付いています

あと２０年もすると秋の景色は変わってしまうかもしれません

「秋の夕日に、照る山紅葉、濃いも薄いも数ある中で松を彩る楓や蔦は山のふもとの裾模様」

音楽室から紅葉を見ながらみんなで歌った「もみじ」が懐かしいです